



「お母さんと一緒にうれしいね」

8月29日に行われた、おひさま保育園運動会での1こまでです。1つのデカパンツを親子ではいてゴールを目指すリレー方式の競技では、参加した親子からも観客からも笑顔が弾けました。

(関連記事26ページ)

むかしむか史 (240)

てしかがが歴史写真館 14  
むかしむか史



馬車

馬車は、明治に入って四輪は乗り合いなどに、二輪は荷物の運搬にと欧米の影響を受けて利用が広まりました。車輪は、木組みの本輪に鉄板の金輪を巻き頑丈にしたものです。

輸送の主力だった馬車は、車屋(馬車や馬そりの製作者)、馬具屋(くらなど馬の体に付ける物の製作者)、蹄鉄屋(馬のひづめに付ける金具の製作者)がそれぞれ工夫し、馬の体に負担をかけないように、御者が馬を操り馬車を動かしやすいように改良されてきました。

第二次世界大戦後は、車輪に自動車用ゴムタイヤを利用した舗道車に替わっていましたが、鉄道と貨物自動車の普及でその姿を消していきました。

先日、磯分内と関係のある人物の歴史を再現するNHKの取材があり、てしかがが郷土研究会が所蔵する生活資料と馬車が撮影に協力することがありました。

馬車は收藏してから、実際に馬具を付け荷を積んでみたことがないので、果たして動かすことができるか心配でした。しかし、弟子屋町内のばん馬飼育家が、馬車の整備と馬具の製作に協力してくれて、馬車を動かすことができました。

てしかがが郷土研究会(松橋)

Public relations magazine

2010.10 No.674

てしかがが

主な内容

- 親も学校も地域もみんなで子育て・・・②
- 地方公共団体財政健全化法に係る健全化判断比率などの状況・・・⑬
- 調査票の記入はお済みですか?・・・⑰
- 釧路川の改修に取り掛かります・・・⑱
- てしかがが2 daysエコパスポート・・・⑲
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設・・・㉓

てしかがが 2010.10

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696  
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています



# 親も 学校も 地域も みんな で 子育て

弟子屈町青少年健全育成事業

ねえ、君  
毎日楽しいかい？  
感動に出会えているかい？  
ふるさとのことが好きかい？  
自分のことが好きかい？

時には  
つらいことも  
悲しいことも  
苦しいこともあるよね  
でも  
君なら乗り越えられるよ  
自信を持っていいよ

だって  
君にはすてきな力があるんだから  
必ずあるんだから

君が自分の力に気づくことができるには  
僕たち大人は  
何をしたらいいのかな  
何ができるかな





# さまざまな体験を通して 豊かでたくましい心をはぐくんではほしい

町では、青少年健全育成事業を通して、子どもたちの健全な成長のお手伝いをしています。  
将来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく生きる力や、ふるさとを愛する心をはぐくんでくれることを願い、非日常生活体験や集団活動、さまざまな体験活動などを行っています。

## 子どもたちの豊かな成長に必要なもの

子どもの成長に必要なこと。何だか分かりますか。

- 日常生活
- 学習
- 遊び
- 運動活動
- 文化活動
- 触れ合い

ほかにもまだあるのでしょうか。代表的なのはこの6つです。子どもの成長には、これらの総合的なバランスが必要です。

では、誰が子どもたちにこれらを提供するのでしょうか。

子どもの成長・教育の場の基本は家庭にあります。でも、すべて家庭でできるのでしょうか。それは

ちょっと無理かもしれません。では、すべて学校で？すべて地域で？これも無理ですね。

つまり、家庭と学校、地域がそれぞれ連携して、子どもたちにさまざまな体験をさせることで、豊かな成長を促すことが大切なのです。

子どもたちの豊かな成長のための地域の役割。その部分を少しでも、町教育委員会の「青少年健全育成事業」が担うことができたらと思っています。

## 子どもたちが抱える課題と町が目指す教育

現代の子どもたちの現状はどうなっているのでしょうか。

最近の子どもたちには、次のような傾向が見られます。

- コミュニケーション能力の低下。指示されないと行動できない。
- 逆境に弱い。
- 発想力に欠ける
- 好きなことにしか取り組まない。
- 計画を立てられない。
- 感動しない。感動できない。
- ストレスを抱える子どもが急増しているが、ストレスに耐える力を持つことができない。
- 自分を認めたり、自分に自信を持つたりする、自己肯定感に欠けている。

皆さんのお子さん、皆さんの周りの子どもたちはどうでしょうか。思い当たることはありませんか。

では、どうしてこのような子どもたちが増えていくのでしょうか。原因については、次のように分析しています。

- 社会の変化（不便のない生活環境など）
- 人間社会の希薄化（自己中心社会・人間関係の欠如）
- 遊び・体験環境の変化（室内型・組織化）

以上のような原因により、現代の子どもたちにはさまざまな実体験が不足していると考えられます。昔であれば、大家族や親密な近所づきあいの中で暮らし、物質的にも恵まれない分、自分でいろいろな工夫をしながら、何より自然の中で目いっぱい遊ぶことで、自然と身につ

成長につながっていったことが、現代の子どもたちには欠けているということです。

こういったさまざまな実体験、つまり子どもの成長に必要な6つについて、誰かがすべて提供できるかというと、前述したとおりそれは無理なことです。ですから、地域を担う子どもたちの成長の場をわたしたちがお手伝いできたら…。そんな思いで、町教育委員会では青少年健

全育成事業に取り組んでいます。

## 教育は地域づくり 町の未来を担う 人材を育てたい

町には「弟子屈町教育目標」といいます。それは「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育てむ」というものです。具体的には、将来、次のような人に成長していく子どもたちを考えています。

- 体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人。
  - 郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人。
  - 自然と調和した活力を潤いにあふれた郷土づくりにつとめる人。
  - 働くことに誇りを持ち、より良い家庭や社会の建設につとめる人。
- 今、子どもたちの健全育成に努めるといことは、未来の弟子屈を担う人たちを育てていくということ。つまり、子どもたちを豊かに育てることは、イコール地域づくりだということなのです。

そう考えると「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育てむ」と、つまり地域を担う人材を、家庭と学校、地域が協力し合って育てていくことは、当然のことだといえるかもしれません。



子どもたちを豊かにはぐくん  
でいくために必要な、さまざま  
な要素があります。

## 目標によって 青少年健全育成の 切り口もいろいろ

青少年健全育成事業では、前述した子どもたちの傾向（課題）を改善するため、次のような事業を計画・実施しています。

- 少年の主張弟子屈大会／日常生活の中で、体験したり考えたりしていることを発表することによって、住民の一員としての自覚と責任を促し、健康な心身と発表の仕方を身につける。
- てしかが冒険隊／小・中学生を対象に、非日常生活を通して、社会性や自立性、協調性、冒険心、挑戦心を養い、人に対する思いやりの心や豊かな心など、たくましく生きる力をはぐくむ活動。郷土弟子屈を知り、誇れるなど、ふるさと愛をはぐくむ活動。
- ボランティアリーダー養成講座（リーボラ隊）／中学・高校生を対象に、非日常生活体験活動や自然環境などの保護活動、社会福祉活動など、さまざまな活動に対応できるボランティアリーダーを育成する。
- Go-Go チャレンジ隊（派遣事業）／管内外で行われているさまざまな体験活動など、各種事業に参加を促し、他町村からの参加者





スタッフの事前打ち合わせ

## 将来の地域を はぐくむ活動 てしかが冒険隊

この中で、代表的で特徴的な取り組み「てしかが冒険隊」について紹介します。

皆さんは、冒険と聞いてどんなことを想像しますか？辞書によると冒険とは「危険を冒して行うこと」とあります。

てしかが冒険隊の冒険活動はそうではありません。あえて危険を冒して行う活動ではなく、子どもたちを中心に、日ごろ行わない活動に挑戦しよう。そして、その挑戦から気付いたことや発見したこと、達成したことや感動したことで、子どもたちも保護者もスタッフも、みんな成長していこうという活動です。

冒険隊の活動を通して町が目指したいことは、次の5つです。

- 健全な子どもの育成

今年度は10月と11月に、先住民族であるアイヌ民族と、北海道の名付け親である探検家・松浦武四郎について学ぶプログラムを予定しています。

もう1つのねらいが、現代の子どもたちが抱える課題の解決です。自ら計画し、実行する活動を通して、仲間と信頼関係をつくり、自分に自信を持ってほしい。そして、たくましく育ってほしいと考えています。

このねらいのもとに用意しているのが「あの町この町編」「雪中ラッセル隊」「アドベンチャーツーリング」などの活動です。町外で、しかもグループでの活動が中心となっていて、仲間を思いやり、責任を持ってやり遂げることで、自信を手に入れてもらいたいと思っています。

冒険隊の活動には、たくさんの方のスタッフがいいます。教育委員会の職員はもとより、活動を支援してくれ

- 保護者との連携
  - 学校との連携
  - 地域との連携
  - 各種団体との連携
- この活動を通して地域づくり、つまり、将来の地域をはぐくむ活動にしたいということです。お互いに成長しながら、家庭や地域の教育力の向上につなげていきたいと思っています。

## ふるさとを愛せる たくましく生きる 力を持つてほしい

てしかが冒険隊の取り組みが目指す「健全な子どもの育成」ですが、次の2つのねらいがあり、それぞれのねらいにそったプログラムがあります。

1つ目が、子どもたちに地域づくりの視点を持ってもらうという、ふるさと教育の推進です。ふるさと愛をはぐくむ活動によって、ふるさと弟子屈の良さを知り、感じてもらう。そして、自分の言葉でふるさとのことを語ることができると子どもたちになってほしいのです。

このねらいにそった活動が「てしかが冒険隊・どっぶりふるさと編」です。町内を中心とした活動で、弟子屈を知り、好きになり、誇れるようになってもらうことが目的です。

町内外の一般のボランティアや北海道教育大学などの学生ボランティア、保護者の皆さんなど、たくさんの方が子どもたちの活動をサポートします。そして、スタッフには共通認識事項があります。それは、弟子屈の子どもたちのため、何か1つでも「気づき」をプレゼントするということです。教育の現場であるということを大前提に、安全管理を徹底するのはもちろん、子どもたちの成長の糧となる「気づき」をプレゼントしたい。そう願ひ、努力しています。

## 自転車で駆け抜け テントで7泊の 感動の冒険旅

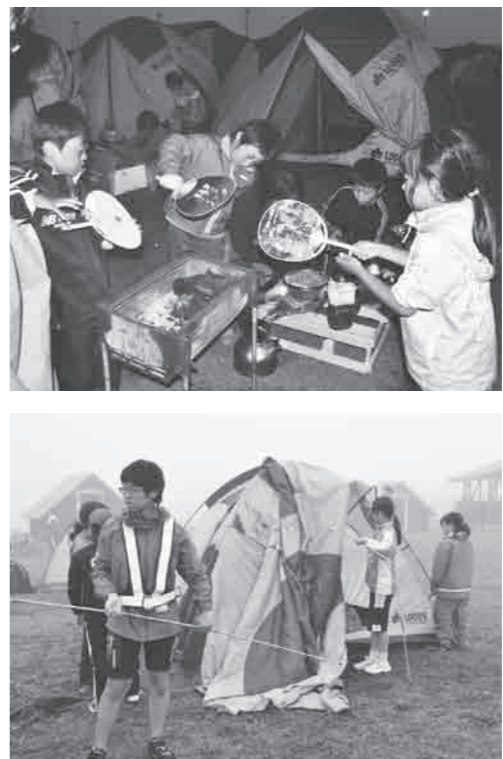
冒険隊の活動の中でも、最も特徴的だと言えるのが、たくましい子どもをはぐくむ活動「アドベンチャーツーリング」です。

目指すのは「挑戦！限界！達成！感動！の旅」。7泊8日の日程でテント泊しながら、自転車でゴールを目指すというもので、今年で3回目。過去最高となる23人が挑戦し、これまた過去最高となる400キロを走破しました。

活動は、ツーリング期間中だけではありません。何度も事前学習を重ね、自転車やテント設営の練習はも



あえて危険を冒すのではなく、食事の準備やテント設営、炭起こしなど、日ごろなかなか行わないことに挑戦していくのが、てしかが冒険隊の活動です。  
(写真/今年のアドベンチャーツーリングから)



## 家庭や地域が お互いに連携して 子どもをはぐくむ

アドベンチャーツーリングは、保護者の皆さんからの支持や評価が高い事業です。

もちろん、参加には子どもたちの希望や意志が最優先されますが、保護者の皆さんからの理解や承諾も欠かせません。一度参加させてみると、子どもたちの成長ぶりに驚き、来年ももう一度参加させたいと思ったださるようです。実際、3年連続で参加している子どもたちもいます。

そのような中、冒険隊の活動を支



多くの人でにぎわった虹のワマーケット

援しようという動きも現れました。

代表的なものが、6月に行われた「虹のワマーケット」(同実行委員会主催です。子育て真っ最中のお母さんたちが中心となって開催したフリーマーケットですが、楽しいだけではなく社会の役に立つイベントにと、フリーマーケット出店料の半額を寄付するというものでした。実行委員会が選んだ寄付先は3つあり、その中の1つが「青少年健全育成事業」てしかが冒険隊でした。

実行委員のお母さんの中には、わが子が冒険隊で活動しているという方もいます。そういったことから、自然に支援の輪は広がっていったようです。

また、アドベンチャーツーリングの活動中、サポートスタッフとして自転車で行ったお父さんやお母さんも。家庭と地域が連携した教育が、形になってきています。





町教育委員会  
社会教育主事  
奥村 利之

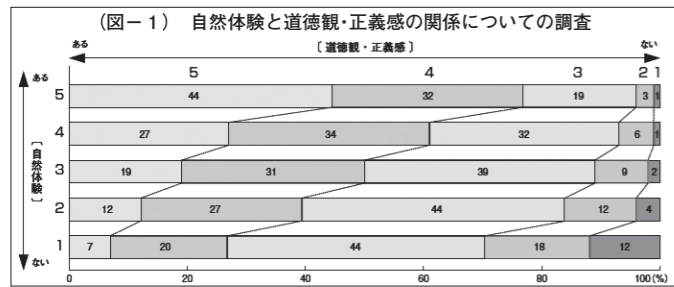
## 人間力を兼ね備えた大人へ そして地域づくりへ

「今年の冒険隊は、いつあるのっ」「アドベンチャーツーリングはどこのっ」と街角で声をかけられるようになりました。

昨年からは、未来子ども協議会と連携協力して実施しているほか、今年3月に開催された「女性のついで」で、活動を紹介させていただいたり、活動も7年目の継続で、地域の方々が楽しみにしてくる活動になってきているのかなと感じています。

また、保護者の方々や地域の方々から「アドベンチャー」の活動支援のため「虹のわマーケット」の開催を通して支援を呼びかけたり、お父さん、お母さんが仕事の休みを利用して、スタッフで参加してくれたりと変化が見られ、冒険隊の活動が少しずつですが、地域をはぐくむ活動に近づいていることが感じられます。

さて、青少年担当者が集う研修会などでは、子どもたちの状況などが話題となります。その中で必ず話題の中心になるのが「コミュニケーション能力の低下」や「自己肯定感の低下」です。冒険隊の活動を通して、子どもたちが抱える課題解決を目指して取り組んでいるのですが、町内の子どもたちすべてに行き渡るものではありません。



ある講演会では「子どもたちが大人になる成長の過程で『何を学習』し『何を体験』して『何を学ぶ』『何を身につける』か」と、さまざまな体験の積み重ねによって人間力に差がつく。現代の子どもたちは、コミュニケーション能力の低下や自己肯定感の低下などが課題となっている。原因としては社会環境の変化に伴い、さまざまな実体験や経験が少なくなっているため、心や体が育っていないとの指摘でした。

また「自然体験と道徳観・正義感の関係」についての調査(図-1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 平成17年度調査)では、自然体験の多い小学生には、道徳観や正義感が身に付いている子が多い傾向であると調査報告されており、子どもの成長には体験活動が必要不可欠であると言えると思います。

この子どもたちを取り巻く課題については、家庭で、地域で、学校で、子どもたちの教育に携わる者が、それぞれ、時には連携しながら取り組まなければならない状況にあります。

5月中旬から取り組み始め、8月6日から13日までの7泊8日の日程で行った、アドベンチャーツーリングでは、主催者(町教委)からの提示もありましたが、活動するグループ分け、ツーリングコース体験活動、食事の計画や買い物など、子どもたちが主体で旅をする活動です。

8月6日に公民館前を、朝から30℃を超す猛暑の中スタートし、自転車を走らせ心地良い風はすが熱風で、進むのは水ばかり。上り坂に差し掛かると思うように進めず、涙を流しながらでもペダルを踏む。一面に広がった太平洋に感動し、砂浜を馬に乗って散歩した。昆布しか釣れなかった海釣り浜辺は涼しく気持ちよかった海釣りキャンプ場へ到着すると霧の中で寒く、風邪をひくかと思いました。

塘路湖まで80kmのチャレンジャーを頑張って走り抜き、翌日は力を合わせて釧路川を下り、釧路湿原を満喫した。みんなで風呂に入って、食事の後に、お母さん、お父さんから手紙が届き、必死に読み返していました。テントの中では「お母さんに会いたくなっ」と涙する冒険小僧も…。

阿寒湖では遊覧船に乗って、マリモを見た。阿寒湖を満喫した。

鶴居村へ移動中、雨が降ってもカッパを着て自転車で懸命に走った。その夜は、みんなで作ったハイキングがおいしく最高だった。

弟子屈町に戻ってきて、みんなでアイスを食べながら雨宿りしていたら、ゴールを出迎えてくれたかのように、虹が現れ、すこきれいでした。公民館前では、お父さん、お母さんたちが出迎えてくれ、みんなそろって笑顔のゴールをしました。

8月13日にゴールした子どもたちは、楽しかったことよりも、つらかった思い出が多いことでしょうか。日常生活を感じない生活から一転して、頼る親もない。まして、コミュニケーションを取る事が苦手な子どもたち同士が、1週間以上も移動しながら共に生活するわけですから、つらさを感じるのは無理もないことだと思います。しかし、子どもたちは時間をかけてツーリングの1週間を思い出すとき、少しずつですが、ためになったことや発見したことなどの経験や仲間との思い出が、ポツリ、ポツリとよみがえってきます。

「仲間と共に頑張ったこと」  
「一緒に食事を作って食べたこと」  
「たくさんけんかしたこと」  
「つらくて、さびしくて、涙したとき、仲間が励ましてくれたこと」  
などの経験が積み重なることで「仲間との信頼関係」や「自分自身に自信を持つこと」がはぐくまれていくのではないかと、活動を通して感じます。そして、チョッピリですが、人間らしい大人へと成長する要素が積み重なり「人間力を兼ね備えた大人」へ成長してくれることを願います。

冒険隊の活動を通して成長しているのは、子どもたちばかりではありません。スタッフ(大人)や保護者など、携わる者すべての人々に「気づき」があり、それぞれ成長し、家庭や地域で生かされ、地域づくりの原動力となっています。

ですが冒険隊の活動がコソコソと地道に継続し、現代の子どもたちが大人に成長したときに、次代の子どもたちに引き継いでいける。そんな活動になると思います。

## 冒険隊を通して わたしが思う

## 健やかなはぐくみのエッセンス

親として  
地域として



虹のわマーケット  
実行委員  
木名瀬 佐奈枝 さん

冒険隊の活動には、息子が5年間、ほぼすべてのプログラムに参加しています。アドベンチャーツーリングにも、3年連続で参加しました。学校を通して案内のチラシが来ると大喜びで、楽しみにしている様子が分かります。

子どもの成長ですから、劇的な変化はなかなか見えませんが、冒険隊の活動を通して「生きる力」が湧いてきたというところを、日常の折々に感じます。それは、子どもたちの自主性を尊重した、子どもたち同士の活動の中ではぐくまれたものだと思います。教育委員会の方たちがこういった事業を企画し、子どもたちを連れていってくださることに、本当に感謝しています。

この事業は、町の誇りだと思いますし、親としてこれからも支援していきたいです。また、地域の方にこの素晴らしい事業を知って、支えてほしいとも思っています。その思いが「虹のわマーケット」のコンセプトにつながりました。冒険隊の活動が今後も長く続いていくことを、心から願っています。

親として  
地域として



虹のわマーケット  
実行委員  
辻谷 文 さん

娘がアドベンチャーツーリングに、昨年と今年と参加しました。昨年は参加後の変化はあまり感じられなかったのですが、今年には目に見えて成長しました。小さい子に優しくしたり、買い物などをしてくれたり、いろいろなことを自然と自分からするようになりました。

冒険隊の活動で得られるような体験を、親が子どもにも与えられるかという難しいと思います。親ではない地域の大人とかかわって活動するというのが、いいのだとも思います。また、娘は少人数校に通っているのですが、いろいろな面で行き届いている半面、周囲にもまれる経験や、たくさんの人とのコミュニケーションの機会に欠けているとも感じています。そういった意味でも、冒険隊への参加は意義があると思っています。

娘にはふるさとを好きになってほしいと思っています。娘が大人になってふるさとを思うとき、冒険隊は誇りであり、活動で得たものは宝物になっているはず。この事業が長く続くよう、応援していきます。

親として  
サポート  
スタッフとして



アドベンチャーツーリング  
サポートスタッフ  
片桐 静 さん

アドベンチャーツーリング8日間のうち、最初の3日間と最後の1日、サポートスタッフとして同行しました。

シヨートツーリングで、屈斜路まで自転車で走ったときも同行しましたが、そのころから比べると、ツーリング後半には目に見えて子どもたちが成長しているのが分かりました。ぼんやりしては進まないと気づき、自分からやることを見つけて取り組むといった責任感が出てきていました。

娘も、冒険隊の一員としてツーリングに参加しましたが、参加前と比べると精神的にも体力的にもたくましくなりましたし、自分でできることは自分でするようになったと感じます。簡単な料理に挑戦したり、車に乗って出かけるのが当然だったのに自転車が出かけたりしています。

冒険隊の取り組みは素晴らしいと思っています。何より楽しいですし、より多くの子どもたちに参加してもらって、いろいろな経験をしてほしいと思います。

学校として



弟子屈小学校  
伊藤 新一 校長

教育とは、目に見えた成果がすぐに出るものではありません。子どもたちが大人になり「あの学校でよかったな」「あの先生でよかったな」と思ってくれたとき、そして大人になった子どもたちが地域に戻り、学んできたことを自分の子どもに伝えられたときに、教育が実を結んだといえるのかもしれない。「一生懸命に頑張ること」「学びを活用する力」「周囲とかかわっていく力」を身につけてほしい。私たち教員は、そんな思いで日々子どもたちと向き合っています。

横の集団での活動が中心の学校に対して、教育委員会の青少年健全育成事業は縦の集団での活動を中心とした、未知なるものへの挑戦です。こうした学校では味わえない体験を通して、子どもたちは自分自身の心にチャレンジしているのだと思います。人には話さなくても自分自身の中で満足感や成就感があり、次の意欲へとつながっていく、素晴らしい活動だと思っています。進んで参加する子どもたちを褒めたいと思います。





海辺でホーストレッキング(8/8浜中町)



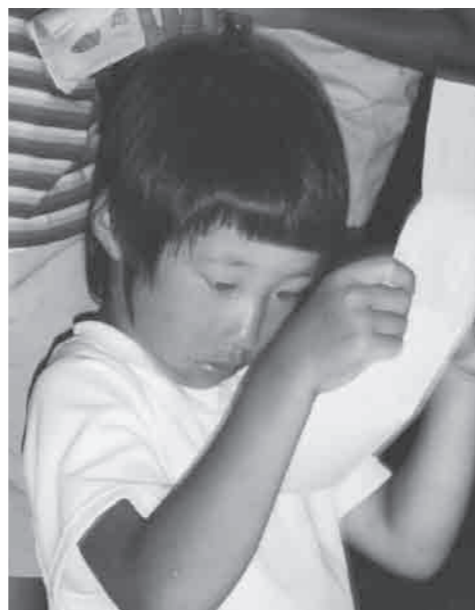
海釣りに挑戦(8/8浜中町)



朝食が元気な一日の鍵(8/8根室市厚床伊藤牧場キャンプ場)



海ってきれいだねえ、大きいねえ



旅先に届いた家族からの手紙にあふれるものは…(8/10)



暑さの次は土砂降りの雨(8/12)



暑い 熱い

# 冒険小僧たちが駆け抜けた夏

てしかが冒険隊アドベンチャーツーリング2010は、8月6日～13日の7泊8日の日程で、釧路・根室管内を舞台に行われました。小学校1年生～中学校2年生23人が、さまざまな体験を重ねながら、400キロを自転車で走破。真っ黒に日焼けしてたどりついたゴールで、勝どきを上げました。旅の様子を写真で振り返ります。



少し寂しくなってしまった仲間を元気づける(8/9)



今日は浜中町から標茶町まで80km走るチャレンジデー(8/9)



釧路市動物園でかわいい動物たちと触れ合う(8/11)



塘路湖から岩保木水門までの釧路川下り(8/10)



阿寒湖では遊覧船にも乗船(8/12)



豪雨に見舞われやむなく車へ…そして爆睡(8/12)



最後の夕食はみんなで作った豪華バイキング(8/12鶴居村)

お父さんやお母さんが出迎える中、感動のゴール(8/13)



2日目も快調(8/7)



上り坂が少しきつい



見送りと声援を受けて元気に出発(8/6)



連日猛暑との戦い(上)だから冷水が心地いい(左)



初日の目的地は厚岸町



サポートスタッフに見守られながら





狩野 悠君  
弟子屈小5年

1日で80kmを走るチャレンジデーは、特に坂道がつかかったけど、走り切ることができてうれしかったです。カヌーや乗馬や海釣りなど楽しいことも多くて、また参加したいです。



昭栄小6年  
更科 宏記君

みんなで一緒にお風呂に入ったことが楽しかったです。料理は、ほとんどが失敗で残念でした。アドベンチャーツーリングの間は、1日1日が達成感でいっぱい、参加してよかったと思いました。



和琴小6年  
野下 ちはるさん

小学生最後のアドベンチャーツーリングでした。自転車で走るのは暑くてとても大変だったけれど、楽しく走ることができました。毎年挑戦することができて、よかったと思います。



奥春別小6年  
原 朱里さん

自転車で走るのが楽しかったです。坂道はつかかったけど、最後まで頑張りました。アドベンチャーツーリングには3年連続で参加していますが、今年はとても暑かったです。



弟子屈小6年  
木名瀬 道人君

ボートでの川下りが楽しかったです。上り坂はきつかったけど、頑張りました。アドベンチャーツーリングにまた参加するかは分からないけど、もっといろいろな活動を取り入れてほしいと思います。

## 400kmを 駆け抜けた 冒険小僧たち

今年で3回目となった「てしかが冒険隊アドベンチャーツーリング2010」には、23人の冒険小僧たちが挑戦。400キロを走り抜いた感想を聞いてみました。



弟子屈小3年  
小杉山 遥月さん

寒い中での炊事がつかかったけど、乗馬など楽しいこともたくさんありました。アドベンチャーツーリングには去年から参加したいと思っていて、今年参加できてよかったです。また参加したいです。



弟子屈小3年  
築地 郁弥君

自転車で走るのは大変だったけど、頑張りました。楽しかったのは、馬に乗ったことです。できれば、また馬に乗りたいです。あまり楽しくなかったのは、釣りで。何も釣れなかったからです。



弟子屈小4年  
寺田 安那さん

川下りのとき、ボートで水を掛け合っただけが楽しかったです。全然釣れなかったので、釣りはあまり楽しくありませんでした。仲間とのけんかもあったけど、とても楽しかったので、また参加したいです。



弟子屈小4年  
築地 朱里さん

乗馬体験が楽しかったです。もう一度、馬に乗りたいです。ほとんど釣れなかったので、釣りはあまり楽しくありませんでした。暑い中、頑張って自転車で走ることができてよかったです。



弟子屈小4年  
小濱 亜夢花さん

みんなと一緒に料理や自転車体験をして、新しい友達もできて、うれしかったし楽しかったです。一英語指導助手のチームにも英語を教わってもらって、うれしかったです。面白かったから、また行きたいです。



弟子屈小4年  
片桐 春野さん

アドベンチャーツーリングで、初めて自転車で長い距離を走って楽しかったです。時間いっぱいになって、途中で車で回収されたのが悔しかったので、今度はもっと早く走りたいです。



奥春別小2年  
阪口 羽和さん

ご飯を作ることがとても楽しかったです。暑い中、自転車で坂道を上ることはとても大変でした。大変なことも、つらいこともあったけど、アドベンチャーツーリングは楽しかったです。



奥春別小2年  
守屋 陽平君

自転車で坂道を上るのがつかかったし、晩ご飯を作るのが難しかったけど、頑張りました。活動の中では、動物園に行ったのが楽しかったです。また、アドベンチャーツーリングに参加したいです。



奥春別小2年  
有園 岳馬君

自分たちでご飯を作ったことが楽しかったです。あと、活動を通して地図を読むようになったことがよかったと思います。坂道を上るのはとてもつかかったけど、頑張ったよかったと思います。



弟子屈小2年  
狩野 凜華さん

釣りをしても釣れなかったのが残念だったけど、乗馬はとても楽しかったです。あと、旅先にお母さんからお手紙が届いて、とてもうれしかったです。だから頑張ることができたと思います。



弟子屈小2年  
小濱 裕哉君

アドベンチャーツーリングは2回目だったけど、グループで協力するところが楽しかったです。上り道がつかなくて、釣りができなかったのが残念だったけど、また参加したいです。



弟子屈小2年  
小濱 朋哉君

カレーを作りました。ニンジンが硬かったけど、楽しかったです。坂道や雨がつかなくて、仲間がけんがをしているのはいやでした。サポートスタッフのみんなとは、ずっと一緒にいたかったです。



サブリーダー  
弟子屈中1年  
西端 祐樹君

昨年に引き続き、今年で2回目のアドベンチャーツーリングでした。今年はサブリーダーとしての役割もあって大変でしたが、楽しいツーリングでした。みんなで無事にゴールできてよかったです。



サブリーダー  
弟子屈中2年  
大関 祐樹君

今回、初めてアドベンチャーツーリングに参加しました。毎日とても暑くて大変だったけど、いろいろな体験ができました。特に、やっぱり自転車で走るのが楽しかったです。



サブリーダー  
弟子屈中2年  
東直人君

自転車で走るのが楽しかったです。長い距離を走るのはつらくも楽しかったのですが、今年はとても暑くて、それが一番大変でした。アドベンチャーツーリングには、また参加したいと思っています。



弟子屈小1年  
澁谷 創磨君

阿寒湖で遊覧船に乗ったことが、一番楽しかったです。友達や、一緒に来てくれた英語指導助手のチームさんともたくさん話をしました。つかかったことは何もありません。また、参加したいです。



弟子屈小1年  
草間 涼太君

すごく暑くて、自転車に乗るのがいやになったけど、一生懸命頑張りました。寂しくなったとき、みんな優しくしてくれてうれしかったし、励まされました。参加してよかったです。



奥春別小2年  
辻谷 麦さん

海釣りや乗馬が楽しかったです。つかかったのは、自転車で坂道を上ることです。アドベンチャーツーリングにまた参加するかは、まだ分からないけど、次は水族館にも行ってみたいです。





弟子屈町青少年健全育成事業

□問い合わせ先/町教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

何となく  
分かったことがあるんだ

みんなで協力し合って何かをするって  
とっても楽しい

自分で考えて行動するって大変だけど  
やり遂げたときはとても気持ちがいい

普段あまりしないこと  
あまり見慣れない景色  
頑張ろうとする気持ち  
仲間を思いやる心

そんないろいろなことが  
大切なことを気づかせてくれたんだ

ぼく

また挑戦してみたいな

もつともつと

いろいろなことを体験してみたいな

世の中には

知ろうとしなければ分からない

すてきなことがたくさんあるんだね

きっかけをありがとう

さまざまなドラマがあったことでしょう

子どもたちみんなが「楽しかった」と言って  
公民館へ戻ってくる姿はとても印象的でした

今しかできない経験をさせてあげたかった

「来年はもう行かない！」  
と言っている半面  
思い出を話すときは  
楽しそうなことがほとんど

毎年、参加するたびに、少しずつ成長していくのが見えました

事業を末永く継続してほしい

たくましい弟子屈っこを育てていけると信じています

子ども時代にこういう体験ができるということが素晴らしい

この事業は町の誇りです

本人はまた参加したいとやる気満々です

何かをやり遂げる達成感を

親主導ではなく

本人自身に味わってもらいたい

子どもにとってはよい経験だと思っている

ゴールした後はとっても自信に満ちあふれていました

多分、家庭では見せない姿で活動しているんだらうなあ



# 調査票の記入はお済みですか？

10月7日(木)までに提出をよろしくお願ひします

- 10月1日現在で平成22年国勢調査が行われています。
- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉や雇用対策、生活環境の整備など、わたしたちの暮らしのために役立てられます。
- 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、町に郵送で提出していただきます。
- 平成22年国勢調査は、わが国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

◆ 調査票が届いていない場合は、ご連絡ください。



## ■国勢調査コールセンター

設置期間：平成22年10月31日(日)まで  
受付時間：午前8時～午後9時  
(土・日曜日、祝日も利用できます)

【電話】☎0570-01-2010

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

【PHS・一部のIP電話】☎03-6738-6677

※PHS・一部のIP電話の場合、所定の料金となります。



**国勢調査**

平成22年10月1日

□問い合わせ先／役場企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

# 地方公共団体財政健全化法に係る健全化判断比率などの状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、本町においても平成21年度決算について算定した財政指標について、広報紙と町のホームページにより数値を公表します。

また、平成20年度から義務付けられた計画策定に係る早期健全化基準や財政再生基準については、平成21年度決算数値においては基準内の数値となっています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
弟子屈町の数値	—(※)	—(※)	17.5%	153.3%	—(※)
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%	(経営健全化基準) 20.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%		

※ 実質赤字比率は-1.95%、連結実質赤字比率は-4.09%と算定されていますが、国からの通知により赤字比率がマイナスとなる場合は「-」で表示することとなっているため表記のとおりとします。また、連結実質赤字比率の中に含まれる公営企業会計(水道事業会計・下水道事業特別会計)に係る資金不足比率においても、それぞれ-61.9%、-0.4%となっていますが、同じく「-」で報告をしています。

## 【早期健全化基準および財政再生基準とは？】

財政の早期健全化基準を超えてしまった場合は、財政健全化計画を策定し、数値が基準内となるように自主的な改善努力を行うこととなります。具体的には事業を縮小したり、収入増のため町民の皆さんに使用料や手数料の値上げによる負担をお願いすることなどが考えられます。

財政の再生基準を超えてしまった場合は、国などの関与による確実な財政再生を行うこととなります。財政健全化計画の策定はもちろんのこと、地方債の借り入れも制限され、新たな事業を行うことは難しくなります。また、国などの指導による再生となるため、町民の皆さんの相当な負担増が予想されます。現在の夕張市のような状況になると思ってくださいと分かりやすいと思います。

## 【今後の見通し】

現在のところ本町においては、上の表のとおり早期健全化基準等を超えておらず、今後についても基準を超えることは想定されていません。しかし、財政状況が非常に厳しい状態であることには変わりがないため、引き続き徹底した歳出削減、歳入確保に努めていく必要があります。

□問い合わせ先／役場企画財政課財政係 ☎482-2913 (課直通)

# オータムジャンボ宝くじ 1等・前後賞合わせて 2億5,000万円！

◆発売期間／10月19日(火)まで  
※売り切れ次第、発売終了  
◆抽選日／10月26日(火)

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

□問い合わせ先／役場企画財政課財政係 ☎482-2913 (課直通)





利用期間/10月11日(月)まで

# 弟子屈 2 days えこパスポート

利用料金/大人1,000円 子ども500円

今年度の「観光交通実証運行」のツールとして7月17日から販売を開始した「弟子屈 2 days えこパスポート」。おかげさまで、ご好評をいただいています。

実験もラストスパート。体育の日の10月11日までが利用期間です。今回の実験には、環境に優しい観光の提案のほかに、地域公共交通の活性化という目的もあります。ぜひ、皆さんもご利用ください。

えこパスポートは、町内のJRやバスが2日間乗り放題で大人1,000円、子ども500円です。通常の料金よりはるかにお得に、バスやJRを利用できるえこパスポート。また、町民モニターになると、さらにお得に利用できます。(右記参照)

- ▶ **販売場所** / えこパスステーション(JR摩周駅内・JR川湯温泉駅内)・(株)ツーリズムてしかが(川湯温泉1丁目)  
※上記以外の販売場所については、(株)ツーリズムてしかがにお問い合わせください。
- ▶ **内容** / JR(摩周駅～川湯温泉駅)・摩周湖バス・屈斜路バス・町内路線バス すべて2日間乗り放題(乗り降り自由)
- ▶ **特典** / レンタサイクル無料(屈斜路バスに乗せられます)・協賛店での特典いろいろ

## 町民モニター募集!

「弟子屈 2 days えこパスポート」の町民モニターを募集しています。アンケートにご協力いただけることを条件に、えこパスポートが半額でご利用になれます。

詳しくは、必ず事前にお問い合わせください。

### ▶ モニター料金

大人 500円(通常1,000円)

子ども 250円(通常 500円)

※モニターになれるのは、1人1回のみです。

□ 申し込み・問い合わせ先 / 役場企画財政課環境室 環境政策係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)まで。

### 問い合わせ先

えこパスステーション・摩周駅内 ☎ 0 8 0 - 1 8 6 6 - 4 7 4 2 川湯温泉駅内 ☎ 0 8 0 - 1 8 7 8 - 6 7 4 2  
(株)ツーリズムてしかが ☎ 4 8 3 - 2 1 0 1

## ”秋の弟子屈町名木ツアー”参加者募集!

平成18年に町が「弟子屈町の名木」として指定した名木などを巡るツアーを、根釧西部森林管理署共催と共催で開催します。皆さん、お誘い合わせの上ご参加ください。

昨年同様、名木のほかに国有林内の「キンムトー」などもご案内する予定となっています。

▶ **日時** / 10月17日(日) 10時～15時予定(小雨決行)

※交通事情や道路事情などにより、終了時刻が変更となる場合があります。

▶ **集合場所** / 弟子屈町公民館前 9時50分

※10時になりましたら出発します。

▶ **ツアー内容** / 弟子屈町の名木14本のうち半数程度と、キンムトーなどをバスで巡ります。

※自家用車などでの追行はご遠慮ください。

▶ **参加料** / 無料

▶ **定員** / 40人(定員になり次第締め切らせていただきます)

▶ **持ち物** / お弁当・飲み物・雨具など。

▶ **申し込み方法** / 10月12日(火)までに、電話で申し込みください。

(受付時間 / 平日の8時45分～17時30分)

□ 申し込み・問い合わせ先 / 役場企画財政課環境室環境政策係

☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)まで。



昨年のツアーから



## 災害対策と安全確保

## 自然と親しむまちづくり

# 釧路川の改修に取り掛かります

現在、北海道開発局釧路開発建設部が進めている弟子屈市街地区の釧路川改修について、町民の皆さんへの説明会が8月31日、社会老人福祉センターで開催されました。説明会には約100人が参加。これから進められる工事概要などについて、説明を受けました。

## 安全を確保した上で環境に配慮した川づくり

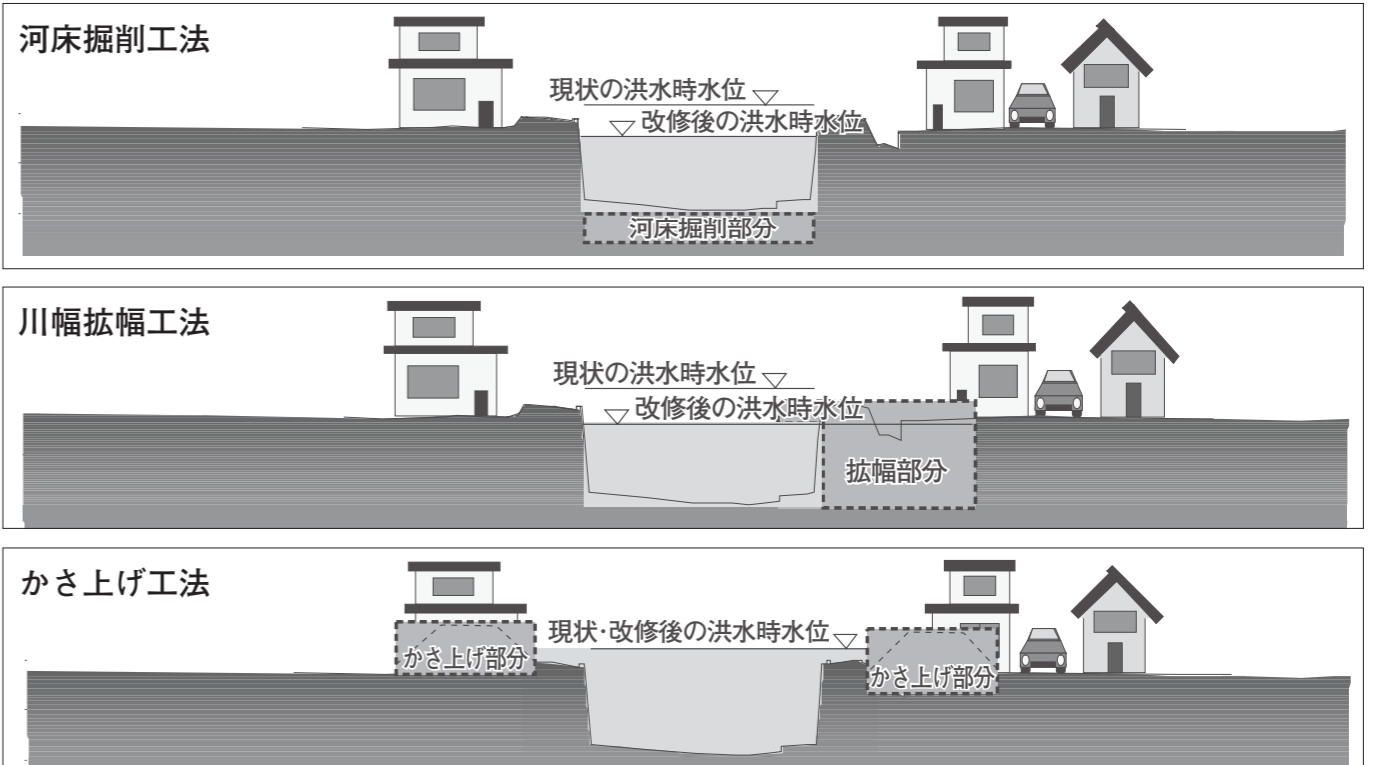
市街地区の釧路川については、集中豪雨などによる水害を防ぐため、川の断面積が不足している摩周大橋上流、萬翠橋下流の約3.5区間での治水対策(改修)が急務となっています。改修については、平成20年12月に発足した弟子屈地区川づくり検討会でさまざまな角度から意見をいただき、協議を重ねてきました。

工法については、住宅が密集している地域のため、川幅を広げるなどの工法ではなく、川底(河床)を掘削する工法(下図参照)が取られることになりました。これまで9回開催された検討会での検討内容をもとに釧路開発建設部では、当初2段階を予定していた川底の掘削について、計画水量(予想される最大流量)を安全に流せることを前提に平均1段の掘削とすることや、浅場と深みを造る

工法による水際植生の形成につながる提案を行いました。また、さら地など余裕のある場所については、気軽に川面に近づける緩傾斜護岸を設置したり、新たなカヌーポイントを整備するほか、護岸ブロックも自然石に近い形状の物を使用するなど、これまでの単なる水路のイメージから、景観や環境を意識した川づくりが行われる計画となっています。

## 工期は10年 変化への対応も臨機応変に

改修工事は今年から、毎年冬期間に行われることになりました。下流部萬翠橋下流(付近)から着工し、約10年をかけて工事が行われる予定です。町としては、工事期間が長期になることから、今後の市街地の状況を見据え、また皆さんの意見をいただきながら、必要に応じて工事計画の見直し(新たな緩傾斜護岸や緑地帯の整備)を開発建設部に求めています。



問い合わせ先 / 北海道開発局釧路開発建設部釧路河川事務所 ☎ 0 1 5 4 - 8 3 0 0 まで。





更科源蔵(さらしなげんぞう)  
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を続けた。  
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



左から、メモを取っているのが更科、その右隣が坂本直行、1人おいて右端が広尾又吉老人

日高の山から出た雷が海に行つて帰らない間、十勝の天気はよくなるまいんだ。初対面の広尾又吉老人は、まだ二三日は海から帰るまいから今日は雷のいない日高の山は密雲にときざされているのだといった。

私が十勝を去る日遠雷の音がしたやつと海から帰ってきたな(と)思ったが、又吉老人のいった通り十勝野の上に彼の微笑みような青空がひろがった。だがそれから半月もしないうちに大木のように斃れたという彼の訃報をきいた。

私の会ったときはもう起きれる状態でなかったのに無理してきちんと背広をきて待っていてくれたのである。あれから七、八年になる。

(略)

「コタン詩集」から

## 『広尾又吉老人』

詩人・尾崎喜八らが中心になり、申田孫一(詩人・哲学者)が責任編集した山の文芸誌「アルプ」という雑誌のNo.16号(1959(昭和34)年6月号)に「十勝の山々」という更科の散文が掲載されています。

散文には、更科がぜひ会って話したいと願っていた、十勝系アイヌの広尾又吉老人との出会いのことが書かれています。

更科は、又吉老人と懇意にしてきた坂本直行(山岳画家)らと、1957(昭和32)年11月上旬に十勝に出かけています。でもこのとき、又吉老人は病に伏していたのでした。

そのことを聞いていた坂本直行は、更科に「寝ているから行っても駄目らしい」と話します。

しかし又吉老人は、せっかく札幌から来るという客に失望させまいと、きちんと身支度をしてストロブの前に座って待っていてくれたのです。更科は、その心遣いにのどが詰まって、思うように話ができなかつたといひます。

そして更科は、初めて会った又吉老人の白いあごひげや、笑ったときに見える白くてたくましく美しい歯に、いつか母が語ってくれた祖父の姿が重なり、顔の知らない

い祖父を想像します。

又吉老人と語るうちに、更科たちは驚きます。それは、又吉老人の戸籍の生年月日は「明治四(1871)年一月不詳」となっているのですが、又吉老人の話によると、どうもこのときで100歳近い年齢になつていないとつじつまが合わない歴史的事実に立ち会つてのことでした。そして、病に伏す少し前までは、使いこまれた村田銃を肩に担ぎ、クマを追つて日高の山々を自由に闊歩(かつぽ)していたことです。(雪原の足あと「坂本直行著から引用」)

更科は思います。「自然の中に生き山に狩り、海に漁する人に年令なんてどうでもいゝのである。そんなことは彼等の生活に何の必要もないのである。歳を数えてみて何になろう、それよりもっと重要なことが山ほどあるのである」と。

いろいろと語つてくれた又吉老人と別れるとき「また来たらきつと寄ってください」という又吉老人の優しい言葉に更科は「祖父が私を信じてくれたようにうれしかった」と感激します。

それから数日後、坂本直行から「マキチシス」の電報を更科は受け取つたのです。

# 第61回弟子屈町総合文化祭を開催

芸術と文化の秋、10月9日(土)の町民ダンスの夕べを皮切りに11月7日(日)まで、文化サークルなどが日ごろの活動の成果を発表します。ご家族おそろいで、また皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください。

■会場/公民館 (展示時間/9時~18時 各最終日は16時まで)

催物案内	日程	団体名
展 示	10月23日(土)~10月24日(日)	正光末生流江上社中・池坊リラの会
	10月23日(土)~10月27日(水)	グループホームあったか家・ダイケアセンターたこ八・グループホーム家路・弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会・香墨弟子屈習字勉強会・摩周湖絵手紙・弟子屈短歌会・弟子屈郵便局・摩周フラワーマスター協会・摩周多夢窯・個人作品展
	10月26日(火)~10月28日(木)	あさひ絵画教室
	10月30日(土)~11月3日(水)	弟子屈町老人デイサービスセンター・弟子屈町養護老人ホーム倭和園・摩周焼陶芸教室・おひさま保育園・きずなのなかま達・手編サークル&すずらん編物教室・木綿美キルトグループ・アートフラワーマーガレット同好会・ステンシル、ボタニカル、アソシエーション・創作人形Y o uの会・ビーズ友の会・公民館「手編み」講座
	11月5日(金)~11月7日(日)	弟子屈菊同好会・てつなぎ工房

## ■会場/摩周観光文化センター

催物案内	日程	団体名
芸能発表会	10月31日(日) 10時開会	午前の部 弟子屈小学校吹奏楽部、弟子屈中学校・弟子屈高等学校吹奏楽部、摩周蝦夷太鼓保存会、摩周おこ子ども教室、山田流琴千会、弟子屈町文化協会、川湯ばやし保存会、奥春別小学校、リコーダーを楽しむ会、踊翠流鶴双会弟子屈支部
		午後の部 生田流琴友会、社団法人日本詩吟学院岳風会北釧路支部、弟子屈宝生会、総合舞踊ゆかり会・舞踊サークル華、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、桜祐二歌謡学園摩周歌謡教室、弟子屈摩周湖民謡会、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部、しらかば合唱会、摩周丘幼稚園、パトントワラー弟子屈教室、会場の皆さん全員で(弟子屈音頭)

- ダンスの夕べ (摩周湖農協ビル3階) 10月9日(土) 18時~
- 町民茶会 (摩周観光文化センター1階ロビー) 10月31日(日) 10時~



文化活動の成果を見に行きませんか

□問い合わせ先/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎482-2948 (課直通)

# 2010 10月22日(金)

開場 18:00 開演 19:00

## 釧路圏摩周観光文化センター

前売券 [税込] [一般] 2,500円 (当日3,000円) [高校生] 1,000円 (当日1,200円) [小・中学生] 無料

チケット発売所 弟子屈町公民館 TEL.015-482-2948 釧路圏摩周観光文化センター TEL.015-482-1811 川湯ふるさと館 TEL.015-483-2060

お問い合わせ 摩周湖ブルーコンサート実行委員会 (弟子屈町教育委員会 社会教育課内) TEL.015-482-2948 FAX.015-482-2340 メールアドレス: shogai@town.teshikaga.hokkaido.jp

### 摩周湖ブルーコンサート

札幌交響楽団 弟子屈公演



## 須崎理子さん(弟子屈小5年) 全国小学校陸上競技大会で 7位入賞!



左から徳永町長、須崎さん、小林教育長

8月28日に東京都国立競技場で行われた第26回全国小学生陸上競技交流大会で、弟子屈RCスポーツ少年団所属の須崎理子さん(弟子屈小5年)が、女子100mで第7位入賞を果たしました。

大会後、役場庁舎で結果報告を行った須崎さんは「大会中は気温が36度以上の猛暑で、とても暑い中の大会でしたが、準決勝では初めて13秒台で走ることができたので、とてもうれしかったです。初めて全国大会に出場して緊張したけれど、決勝でも14秒03で走ることができ、わたしが持つ力を出し切ることができました。来年も、全国大会の出場を目標にトレーニングに励み、上位入賞を目指したいです。また、応援してくれた方々にとても感謝しています」と、笑顔で徳永町長らに報告してくれました。

### 全国小学生陸上競技交流大会

### みんなの活躍を紹介

#### ■全国入道大会結果(敬称略)

●第26回全国小学生陸上競技交流大会(8月28日東京都)▼須崎理子(弟小5年)／100m 14秒03 第7位

●第12回北海道ジュニア陸上競技選手権大会(9月4日から小樽市)▼小山内隼人(弟中3年)／100m 12秒21 予選敗退・200m 24秒84 準決勝進出▼杉山駿介(同)／3千m 9分51秒56 第13位▼西田健修(同1年)／100m 12秒30 第4位▼濱岡浩平(同)／

#### ■全道大会出場(敬称略)

●第12回北海道ジュニア陸上競技選手権大会(9月18日から小樽市)▼西田健修(弟中1年)／110mハードル・砲丸投げ▼濱岡浩平(同)／100m 走り幅跳び

●第26回北海道高等学校新人陸上競技大会(9月21日から旭川市)▼



上位入賞を目指す濱岡君と西田君(左から)

### 車椅子を操り華麗なプレー

#### 第8回周杯車椅子バスケットボール大会

第8回周杯車椅子バスケットボール選手権大会(実行委員会主催)が9月11日、12日の2日間、摩周観光文化センターで開催された。

本町で行われる車椅子バスケットボール選手権大会は、健常者も参加することができる大会で、車いすを巧みに操っての激しいぶつかり合いや華麗なシュートが見られる魅力的な大会です。

大会には、札幌市や旭川市など道内各地から6チームが出場し、白熱した試合が展開されました。決勝戦では、旭川リバースが宿敵FREEZZ(釧路市)に競り勝ち、見事初優勝を飾りました。



激しくぶつかり合う選手たち

### 高梨さんに 釧路管内体育指導委員功労賞



表彰を受けた高梨さん

平成22年度釧路管内体育指導委員功労者として、町体育指導委員の高梨ひとみさんが9月2日、釧路管内体育指導委員協議会から表彰を受けました。

高梨さんは平成11年度に弟子屈町体育指導委員に委嘱され、管内女性部副部長、管内評議員などを歴任したことによる受賞となりました。

受賞後、高梨さんは「大変重みのある賞をいただきました。これからも体育指導委員として、弟子屈町のスポーツの発展に貢献できるように頑張りたい」と、抱負を語りました。

西田尚将(弟高2年)／200m 110mハードル▼横井克哉(同)／砲丸投げ・円盤投げ▼小澤奏(同1年)／棒高跳び

●第32回北海道高等学校秋季テニス大会(10月6日から苫小牧市)▼三神翔吾(弟高2年)／男子シングルス▼三神翔吾・清水祐太郎(同1年)／男子ダブルス▼坪田玲奈・戸田奈美穂(以上同2年)・金澤映実・井関樹里・大浦彩織・佐藤あゆみ・吉田早織(以上同1年)／女子団体戦▼坪田玲奈／女子シングルス▼坪田玲奈・戸田奈美穂／女子ダブルス



月尾塾長の講演

「地球環境とエコツーリズム」と題した講演で講師の月尾さんは「自然環境やエコが世界的に叫ばれるようになった今、地域の自然環境は視点を変えることで劇的に価値が見直される。北海道は特にこうした視点が

## 北海道はエコツーリズムに最適



月尾嘉男氏

てしかがえこまち推進協議会会長 徳永町長

## てしかがえこまち推進協議会

### 釧路湿原塾移動塾in川湯

「これまでの外部の旅行事業者主体のマスツーリズム(大衆化された観光)に対し、地域住民が主体となつて自然環境などの観光資源を持統することで、地域経済を発展させる仕組みを創造することがエコツーリズムであり、大事なことであり」と説きました。さらに「北海道は日本国内でも、経済的に発展が遅れていて、自然環境が豊かであることも、エコツーリズムを推進する地域に適している」と述べました。

月尾さんは、東京大学でメディア政策を専門とし、情報通信を活用したまちづくりなどにも造詣が深く、総務省審議官なども歴任。現在は執筆、講演活動を精力的に進めています。

### 参加者募集

## 11/12~14 てしかが観光塾 開催

～北海道てしかがから観光の未来を拓く～  
スイス・ツェルマットに学ぶ観光、そして、その仕組み

- 日 時／11月12日(金) 開会14:00～14日(日) 解散12:30予定(3日間)
- 会場／川湯ふるさと館ほか
- 対象／どなたでも参加できます。
- 定員／30人
- 参加費／10,000円(講習代・テキスト代)  
※弟子屈町民の方は無料です。
- 応募締め切り／10月22日(金)  
※詳しくは下記までお問い合わせください。新聞チラシでもお知らせします。



山田桂一郎氏 藻谷浩介氏 北川フラム氏

【講師】  
副塾長 山田桂一郎氏 JTIC SWISS代表  
藻谷 浩介氏 日本政策投資銀行地域振興部参事役

【基調講演】  
北川フラム氏 アートフロントギャラリー代表

主催：てしかがえこまち推進協議会 共催：(株)ツーリズムてしかが

## エコツーリズムを勉強している方・プロのガイドを目指す方へ

### 日本エコツーリズム協会 エコツアーガイド養成講習会in弟子屈



- 【基礎編】
- 日 時／10月25日(月) 開会13:00～27日(水) 解散13:00予定(3日間)
- 会場／川湯ふるさと館ほか
- 対象／エコツアーガイドの活動やエコツーリズムに興味のある18歳以上の方。エコツーリズムを勉強している学生の方も歓迎です。
- 受講料／20,000円(講習代・テキスト代) ※弟子屈町民の方は無料です。
- 【実践編】
- 日 時／10月27日(水) 開会14:30～28日(木) 解散17:00予定(2日間)
- 会場／川湯ふるさと館ほか
- 対象／日本エコツーリズム協会のエコツアーガイド養成講習会を受講したことがある方。
- 受講料／20,000円(講習代・テキスト代) ※弟子屈町民の方は10,000円。 ※基礎編、実践編を続けて受講される場合は30,000円となります。
- 【基礎編・実践編とも】
- 定員／30人
- 応募締め切り／10月18日(月)  
※詳しくは下記までお問い合わせください。新聞チラシでもお知らせします。

主催：てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部 共催：(株)ツーリズムてしかが

問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課)  
☎482-2940(課直通) (FAX)482-5669 E-mail:ecomachi@masyuko.or.jp

基礎編  
10月  
25～27日  
川湯ふるさと館

実践編  
10月  
27～28日  
川湯ふるさと館



# 人権思想を身につけて

弟子屈小学校で人権教室



人権について分かりやすく話す講師の石川さん

子どもの人権教室は、いじめなどの問題が深刻化する中、全国的な広がりをみせていて、釧路管内ではすべての市町村で開催されています。町内では、奥春別小学校でも開催されています。



教材ビデオを見た後、意見を発表する児童

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が9月8日、弟子屈小学校（伊藤新一校長）で開催されました。道徳教育に力を入れている同校が同協議会に依頼し、初めて開催されたものです。講師に東北海道子どもの人権専門委員の石川征支朗さんを迎え、弟子屈町人権擁護委員の木村貞親さん、朝日英明さん、小澤修子さんの協力の下、開催されました。この日は、4年生の児童が参加。いじめに関する「プレゼント」という教材ビデオを見た後、それぞれ自分の意見を発表し合い、人権について考えました。児童からは「いじめは悪いこと」「いじめられている人がかわいそう」「最後にはみんな仲良くなつて良かった」などの感想が聞かれ、石川さんからは「いじめを『見ているだけ』もいじめ」「自分がされて嫌なことを言ったりしたりしない」「乱暴な言葉を使わない」などのお話をいただきました。最後に「やさしい心と思いやりの心を持つ」「大切な命を粗末にしない」と確認しました。



川湯の子どもみこしも大活躍（右上）川湯神社前の夜店を楽しむ親子連れ（上）

## 地域にぎわす多彩な催し

弟子屈神社例大祭  
川湯神社例大祭

28日に行われたみこし行列では、本みこしが威勢の良い掛け声とともに練り歩いたほか、川湯保育園、川湯小学校、川湯中学校による子どもみこしも元気に歩きました。また、川湯ばやしも披露されました。29日には、川湯神社境内で子ども相撲大会が行われ、訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。



温泉街を練り歩く川湯神社みこし



威勢のいい弟子屈神社みこし（右上）鎧獅子舞にたくさんの観客（上）頑張っている弟子屈子どもみこし（右）



21日に行われたパレードには、本みこしや弟子屈小学校の児童による子どもみこし、鎧獅子舞、パトントワラー弟子屈教室、北響太鼓などが参加し、町内を練り歩きました。途中、数カ所で行われたパトントンや獅子舞、太鼓の披露には、訪れた観客からたくさんの拍手が送られていました。また、神社前にはたくさんのお店が並び、家族連れなどでにぎわいました。

### 町の話



ロータリークラブが障がい者の方を川下りに招待

## 地域の役に立ちたい

今道東建設工業とクニオカ工業  
ロータリークラブによる社会貢献活動



今道東建設工業による美小グラウンド整備

（株）今道東建設工業（今誠代表取締役）の皆さんが9月13・14の両日、社会貢献活動として美留和小学校の環境整備を行いました。2日間で延べ12人が参加し、グラウンドの整備と校庭のアスファルトの補修を丁寧に行いました。また、車両の運搬路に消毒剤を散布するなど、口蹄疫対策にも注意を払い、作業を行いました。作業後、見学していた児童に記念の文房具が贈られ、児童からは礼状が手渡されました。

9月15日には、弟子屈ロータリークラブ（今井善昭会長の皆さんが、地域社会奉仕プロジェクトとして、障がいのある方を釧路川源流部の川下りに招待しました。地元のカヌーガイドの皆さんの協力の下、カヌーやネイチャーボートで屈斜路湖から美登里橋までの川下りを楽しんだ参加者の皆さんからは、終始笑顔がこぼれていました。

また同日、クニオカ工業（株）岡野文代表取締役の皆さんが、旧母子通園センター跡地グラウンドの整備を行いました。近く泉自治会の運動会が開催されるのを前に、社会貢献活動として行ったものです。作業には10人が参加。グレーダーなどを使用し、丁寧に整地を行いました。

クニオカ工業によるグラウンド整備

### 町の話



観光交通実証運行のバスに乗って摩周湖へ  
ネイチャーボートで釧路川源流部を下る（右）永山在兼氏の顕彰碑（顕花下）

## 交流を通して理解を深める

姉妹都市の日置市一行が来町



トウモロコシもぎにも挑戦



のまちや学校の紹介を行い、親ほくを深めました。また、観光交通実証運行のバスに乗って摩周湖を訪れたほか、姉妹都市締結のきっかけとなった永山在兼氏顕彰碑やコタンアイヌ民俗資料館を見学。さらに、釧路川での川下りを行うなど、町内で弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。



初日に役場であいさつをする生徒たち

を訪問しました。24日には役場を表敬訪問し、町職員などの出迎えを受けました。

中学生姉妹都市交流事業は、1990年に始まりました。今回は、東市来、上市来、両中学校の生徒が、それぞれ弟子屈、川湯の両中学校を訪問。給食やクラブ活動を通して、お互いのまちや学校の紹介を行い、親ほくを深めました。また、観光交通実証運行のバスに乗って摩周湖を訪れたほか、姉妹都市締結のきっかけとなった永山在兼氏顕彰碑やコタンアイヌ民俗資料館を見学。さらに、釧路川での川下りを行うなど、町内で弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。



9月5日

### 日ごろの訓練の成果を披露 弟子屈消防の秋季演習



リンク場で行われました。

平成22年度弟子屈消防秋季演習が9月5日、摩周観光文化センター前と弟子屈町営スケートリンク場で行われました。演習には、消防職員や消防団員、関係者など約60人と消防車両が参加。文化センター前で観閲式と分列行進を行った後、スケートリンク場で消防技能競技会を行いました。消防技能競技会では、小型ポンプや消防自動車ポンプの活動技能を披露し、防火意識を新たにしていました。

平成22年度弟子屈消防秋季演習が9月5日、摩周観光文化センター前と弟子屈町営スケート

9月4日

### 収益金で児童書をプレゼント おはなしはらっぱの皆さんが古本市開催



好みの本を手に取り品定め

詠み聞かせの会「おはなしはらっぱ」(笹島久美会長)の皆さんが9月4日、図書館前でチャリティ古本市を開催しました。収益金で図書館に児童書を寄贈しようと企画されたものです。古本市で販売する本については、町民有志の皆さんから無償で提供していただき、思いのほかたくさんのお客が来ました。当日はたくさんの方が訪れ、思い思いの本を手に取り、買い求めていました。

詠み聞かせの会「おはなしはらっぱ」(笹島久美会長)の皆さんが9月4日、図書館前でチャリティ古本市を開催しました。

8月22日

### 恒例の夏の催しにたくさんの人出 屈斜路コタン夏のイベントを開催



イベントを楽しむ来場者

第3回屈斜路コタン夏のイベント(同実行委員会主催)が8月22日、屈斜路の渥美デイトモールさん宅付近で行われました。数年前に同地区に移住された渥美さんが、地元の活性化につなげたいと、地域の皆さんなどと協力して開催しているものです。世界のワインや新鮮な魚介類、地元の野菜などの販売が行われたほか、カラオケ大会や卓球大会、写真や水墨画の展示なども行われ、多くの皆さんでにぎわいました。

第3回屈斜路コタン夏のイベント(同実行委員会主催)が8月22日、屈斜路の渥美デイトモールさん宅付近で行われました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

9月9日

### いざという時に備えて グループホームで救命講習会



「救急の日」の9月9日、グループホーム家路で救命講習会が行われました。参加したのは、グループホーム家路とグループホームあったか家の職員と入居者の家族、地域の厚生員の皆さんなど23人です。弟子屈消防署の職員の指導の下、人工呼吸や胸部圧迫といった心肺そ生法や、AEDの取り扱いについて学びました。119番通報から、救急車が到着するまでは平均6～8分。その間の応急措置が大切と聞き、受講者は真剣に取り組んでいました。

「救急の日」の9月9日、グループホーム家路で救命講習会が行われました。

9月5日

### 川下りで地元の自然の素晴らしさを再確認 カヌーガイドによるリバーフェス



素晴らしい自然を水上から満喫

釧路川リバーフェス'10(同実行委員会(土田祐也実行委員長)主催)が9月5日、釧路川源流部で開催されました。町の皆さんに、地元の素晴らしい自然を体験してほしいと、町内のカヌーガイドの皆さんによって開催されたもので、昨年に引き続き2回目。事前に申し込みをした町民の皆さん101人が、カヌーやネイチャーボートで屈斜路湖から釧路川の源流下りを楽しみました。

釧路川リバーフェス'10(同実行委員会(土田祐也実行委員長)主催)が9月5日、釧路川源流部で開催されました。

8月26日

### 商工会法施行50周年を記念して 商工会青年部の皆さんが清掃活動



夕方、各自の仕事が終わってから清掃

弟子屈町商工会青年部(有岡永機部長)の皆さんが8月26日、道の駅摩周温泉付近で清掃活動を行いました。商工会法施行50周年を記念して全国商工会青年部連合会が企画した全国統一事業「クリーンアップ全国大会」に賛同して行ったもの。商工会を支え、ともに歩んできた地域の皆さんへの感謝の気持ちを伝えることが目的です。清掃活動には、部員など15人が参加し、丁寧にゴミを拾い集めていました。

弟子屈町商工会青年部(有岡永機部長)の皆さんが8月26日、道の駅摩周温泉付近で清掃活動を行いました。

8月24日

### 美しい旋律に耳を傾ける 弟中で玉川学園オーケストラ部の演奏会



演奏に聞き入る生徒たち

玉川学園オーケストラ部演奏会が8月24日、弟子屈中学校体育館で行われました。訪問演奏会は、演奏によってさまざまな人の心をつかみたいと行われていて、今回は、玉川大学と連携協定を結ぶなど、玉川学園・玉川大学との結びつきが深い本町での開催となりました。演奏会には生徒のほかに地域の方なども駆けつけ、チャイコフスキーの弦楽セレナーデやジブリメドレー、ディズニー音楽などを楽しみました。

玉川学園オーケストラ部演奏会が8月24日、弟子屈中学校体育館で行われました。

9月22日

### 命の重さといとおしさを実感 弟子屈高校で赤ちゃんふれあい体験



町主催の「赤ちゃんふれあい体験」が9月22日、弟子屈高校(鈴木晃校長)で開催され、2年生の生徒が赤ちゃんとのひとときを体験しました。赤ちゃんのかわいさや育児の喜びを知り、命の大切さについて考えてもらおうと、毎年開催されています。お母さん方から月齢ごとの発育の特徴を教わったり、子育てについて質問したりしたほか、実際に抱っこやおむつ替えなどを体験。赤ちゃんのしぐさに笑顔がこぼれたり、逆に泣かれて焦ったりする場面もありました。生徒たちは「赤ちゃんに接する機会がないので、貴重な体験だった」と話していました。

町主催の「赤ちゃんふれあい体験」が9月22日、弟子屈高校(鈴木晃校長)で開催され、2年生の生徒が赤ちゃんとのひとときを体験しました。

9月18日

### 長寿と長年の貢献を祝う 町内各地で敬老会開催



徳永町長から記念品が

長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。9月18日に福祉センターで行われた弟子屈町睦婦人会(江口佑子会長)主催の「第62回弟子屈市街地区敬老会」には、281人が出席。徳永町長のあいさつに続き、八幡豊行町議会議長からお祝いの言葉が贈られました。古希(70歳)、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎えた方への祝い品贈呈では代表者に記念品が手渡されたほか、アトラクションでは子どもたちによるお琴の演奏などが行われ、出席した皆さんが楽しみました。

長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。

9月4日

### 2年ぶりに子どもたちのたくさんの笑顔 子どもフェスティバルを開催



子どもたちでにぎわう会場

第7回子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月4日、公民館で開催され、多くの子どもたちでにぎわいました。毎年恒例となっていたイベントですが、昨年は新型と疑われるインフルエンザ流行により中止となったため、2年ぶりの開催となります。会場では、折り紙・ペーパークラフトや伝承遊び、手作りおやつなどのコーナーが用意されたほか、北海道教育大学釧路校の学生の皆さんが物理・生物を分かりやすく説明するイベントも行われました。また、3歳児健診で虫歯のなかったお子さんの表彰式も行われました。

第7回子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月4日、公民館で開催され、多くの子どもたちでにぎわいました。

8月29日

### 町内では最後の開催 おひさま保育園の運動会



かけっこ負けなぞ

おひさま保育園(清水節子園長)の運動会が8月29日、同園グラウンドで開催されました。今年度の町内の運動会としては、同園が最後の開催です。この日は好天に恵まれ、気温も上昇。暑い中、園児たちはかけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯など練習の成果を元気いっぱい披露し、保護者などから大きな声援が贈られました。

おひさま保育園(清水節子園長)の運動会が8月29日、同園グラウンドで開催されました。





すぎぶち ゆきちゃん  
(6さい)

アイスなら なんでも すきだから アイсыさんに なりたいな。いちばん すきなのは チョコの アイ ス。だから おすすめも チョコアイスなの。



おひさま保育園のおともだち



まつだ ようくん  
(6さい)

うちの おとうふやさん を てつだうんだ。おとう さん おかあさんは おじ いちゃん おばあちゃんに なっちゃうからね。うちの おとうふは おいしいよ。

がんばっているあなたがすぎ

シリーズ・ひと

夢をかなえられるよう努力を惜しまず 追いかけてきました

写真展「道東の四季」を開催した写真愛好家 高橋 米子さん(61歳・美里6)



9月1日〜30日の1カ月間、川湯エコミュージアムセンターで、弟子屈町、鶴居村、白糠町在住の女性3人による写真展「道東の四季」が開催されました。リーダー役となったのが高橋さん。これまで多くのコンテンツで入賞するなど、精力的に撮影を行っています。

2人とは写真教室で知り合いました。2人は写真歴3年ほど、わたしは9年ほどで一番長かったこともあり、2人に声をかけ、写真展を開催することになりました。

「道東の四季」とあるように、道東の自然が題材の作品です。写真を始めから、近くの自然へ足を運ぶようになりまし た。それまでは、弟子屈に住ん でいたにもかかわらず摩周湖にすら行ったことがなくて…でも行ってみたいなら、何て素晴らしいのかと。その後、砂湯や藻琴山などにも行くようになり ました。その時々の自然の表情 が素晴らしいのはもちろんで、すが、本州などから来ているカ メラマンの方が、口々に道東の 自然の魅力を語るのを聞き、あ らためて心を打たれました。以 来、道東ばかり撮り続けていま す。今は、風景と星空の撮影に こだわっています。

写真展開催のきっかけは？

「切り口は違うものの、わたし ち3人は道東の自然に打たれて 撮っています。写真を通して、道 東の豊かな自然の素晴らしさを 感じていただき、見ていただいた 方々とその感動を分かち合いた いと思いました。また「自然の写 真は自然の中で見たい」と言っ てくださった方がいて、大好き なエコミュージアムセンタ ーで開催することにしました。

写真展にはたくさんの方が 足を運んでくれました。

写真の魅力は、撮影そのもの はもちろん、写真を通して人と 人との輪が広がっていくこと にもあります。撮影先で会った カメラマンや、写真の教室で出 会った方など、今は皆さんステ キな友人としてお付き合いさ せていただいています。写真展 では、見てくださった方とも交 流ができたのではと思います。

高橋さんが目指す今後とは？

「子どものころは内気で人と 話すこともできなかったわたくし が、写真を通じていろいろな方 と交流を深め、人生の勉強もさ せていただきました。写真展や コンテストなど夢をかなえられ るよう、努力を惜しまず追いか けてきました。これからも、楽し いこと、苦しいことも仲間と共 に分かち合い、楽しく写真を写 し続けていきたいです。



寿扇吟詠会  
会長・宮田 紀子さん  
会員・8人



寿扇吟詠会の皆さん  
後列右端が会長の宮田さん

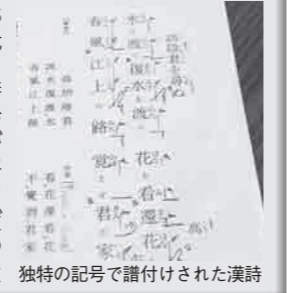
詩吟とは、漢詩や和歌などを独特の節 回して吟ずる伝統芸能です。町内でもた くさんの方が詩吟に親しみ、教室やサー クルも数多くありますが、今回はその中 の一つ、寿扇吟詠会の皆さんをご紹介します。

設立は1995年。以来15年間で、会 員の入替わりはあったものの、長く活 動を続けてきました。週に1回、師範の



おけいこの様子(左)と指導を行う飯居寿岳さん(右)

「四季折々の情景 が詠まれた詩を心 を込めて吟ずるこ とは楽しいですし、 腹式呼吸でストレ ス発散ができて健 康にもとてもいい んです。ぜひ一緒 に やってみませんか」と会長の宮田さん は話していました。 興味のある方は、宮 田さん ☎482-4 343まで。



独特の記号で譜付けされた漢詩



生活情報をみなさんにお知らせ!

# Information

インフォメーション

### 連絡先

- 役 場 ☎ 4 8 2 - 2 1 9 1
- 川湯支所 ☎ 4 8 3 - 2 0 4 3
- 屈斜路支所 ☎ 4 8 4 - 2 0 5 2

## 釧路児童相談所巡回 釧路児童相談所開催

釧路児童相談所による巡回児童相談が開催されます。  
巡回児童相談は、児童相談所を利用することが困難な地域の児童に関する相談について、助言や指導を行うことを目的に開催されています。

- ▼日時／11月24日(水) 11時～15時15分
- ▼場所／こども発達支援センター1
- ▼内容／発達相談と検査

## 多重債務巡回無料相談を実施

北海道財務局では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱えお悩みの方々からの相談を受け付け、相談者の抱える借金状況などをお聞きし、必要

▼申し込み／事前の申し込みが必要ですので、10月29日(金)までにご連絡ください。  
□申し込み・問い合わせ先／こども発達支援センター「もくば」 ☎ 4 8 2 - 3 0 9 3 まで。

かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯。  
③社会福祉施設に入所し、自らテレビを持ち込んでいる世帯。  
▼支援の内容／地上デジタル放送を受信するための簡易なチューナー1台の無償貸付と訪問設置を行います。アンテナ改修などが必要な場合には、無償で改修などを行います。また、共同受信施設やケーブルテレビを利用されている場合には、その改修経費のうち支援対象世帯が負担する額の給付を行います。

▼支援は現物給付です。ご自身で購入したチューナーやアンテナなどの費用を清算することはできません。  
▼支援の申込受付期間／平成22年12月28日(火)まで(消印有効)  
※天候不順などの理由で支援が遅れることがあります。支援を希望される方は、受付期限に関わらずお早めに申し込みください。平成23年度の支援については、現在未定です。

□申し込み・問い合わせ先  
●支援に関すること／総務省地デジチューナー支援実施センター ☎ 0 5 7 0 - 0 3 3 8 4  
0, 0 4 4 - 9 6 9 - 5 4 2 5  
0 0 4 4 - 9 6 6 - 8 7 1 9  
<http://www.chidejishien.jp>  
●NHKの放送受信契約や免除

## 潰瘍性大腸炎・クローン病患者交流会

北海道IBD(クローン病・潰瘍(かいよう)性大腸炎友の会)では、患者交流会を開催します。  
▼日時／10月31日(日) 10時30分～15時(12時30分受け付け)  
▼場所／北海道北方四島交流センター視聴覚室(根室市穂香110・9 ☎ 0 1 5 3 2 6 7 1 1)

▼対象／潰瘍性大腸炎・クローン病患者、家族、関係者  
▼参加費／500円(非会員) ※会員は無料。  
□問い合わせ先／北海道IBD釧路支部事務局長 阿部雄二郎 ☎ 0 9 0 - 5 0 7 6 - 8 3 8 6 まで。

## 労働者個人と使用者間の紛争を調整

北海道労働委員会では、道各総合振興局(振興局)労働相談所と連携して、労働条件やその他の労働問題に関する、労働者個人と使用者との間の紛争

## 文化センターガイド 10月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
分		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
区	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
分	◎		休				◎	◎		休						◎

◎=全面 休=休館日  
(時間帯は18:00～21:00です)  
9月2日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

### 今月の主な行事予定

- 3日 弟子屈町ソフトバレーボール協会防火大会
- 13日 神奈川県座間高校修学旅行
- 14日 愛知県名城高校修学旅行
- 15～17日 エホバの証人の特別1日大会
- 22日 札幌交響楽団「摩周湖ブルーコンサート」
- 24日 釧路管内スポーツ交流会
- 27日 摩周ふれあいスポーツ教室
- 29～31日 第61回弟子屈町総合文化祭

問い合わせ先  
釧路圏摩周観光文化センター ☎ 482-1811

## 地デジ受信チューナー設置を支援

総務省では、経済的な理由などで地上アナログ放送から地上デジタル放送に移行することが困難な世帯に対し、簡易なチューナー(1台)の無償貸付などの支援を行っています。  
▼支援対象／次の①～③のうち、NHK放送受信料が全額免除となっている世帯。  
①生活保護などの公的扶助を受けている世帯。  
②障がい者の方がいる世帯で、

## 情報公開・個人情報保護への疑問は

総務省の情報公開・個人情報保護総合案内所では、行政機関や独立行政法人、特殊法人の情報公開、個人情報保護制度の仕組みや開示請求手続き、請求窓口の情報提供など、制度全般にわたる総合的な案内業務を行っています。  
「情報公開法や個人情報保護法とはどのような内容の法律か知りたい」「行政文書の開示請求を行う方法や手数料を知りたい」「町内会の名簿を作成する場合、個人情報保護法に基づく個人情報報の取り扱い方法を知りたい」などの質問や疑問がありましたら、お気軽にご相談ください。  
▼総合案内所開設日／月々金曜日(祝日・年末年始を除く)の8時30分～17時15分  
□相談・問い合わせ先／情報公開・個人情報保護総合案内所(総務省釧路行政評価分室内)  
釧路市南浜町5番9号 釧路港湾合同庁舎3階 ☎ 0 1 5 4 2 0 9 8 7 メール [anna1014@soumu.go.jp](mailto:anna1014@soumu.go.jp)まで。

## 釧路短期大学公開講座を開催

釧路短期大学では、次のとおり公開講座を開催します。本講座は、道民カレッジ連携講座に登録されています。(教養コース6単位)  
▼テーマ／原典を読むー茶の美ー茶の湯に見られる、日本美の継承(応仁の乱後、日本文化を構築した「茶の湯」の美の継承を、あらためて見直します)  
▼日時／10月4日(月)・10月18日(月)・10月25日(月)の全3回、いずれも10時～正午  
▼場所／釧路短期大学附属図書館  
▼講師／橋本智水氏(書家)  
▼受講料／無料



# 10月18日～24日は行政相談週間です

行政相談委員は、あなたと行政のパイプ役です。「道路がどこかで通行に支障がある」「登記や社会保険について聞きたいことがある」「役所に相談したいが、どこの窓口に行けばよいか分からない」などの相談はありませんか。国の行政に関する相談を、行政相談委員までお寄せください。

▼行政相談週間中の相談所開設  
行政相談委員が、住民の皆さんからの行政に対する苦情や意見、要望などの相談に応じます。相談は無料で、秘密は守られます。  
●期日／10月19日(火)

●時間・場所  
10時～正午 川湯消防会館  
13時～15時 屈斜路研修センター

相談は行政相談所以外でも受け付けています。お気軽に行政相談委員にご連絡ください。  
●弟子屈町行政相談委員／林隆雄さん ☎482-23002  
▼苦情110番もご利用ください／行政苦情110番 ☎0570-090110  
□問い合わせ先／役場町民課町民相談係 ☎482-2934 (課直通)まで。

## 釧路高等技術専門学校の学生を募集

道立釧路高等技術専門学院では、平成23年度の学生を募集しています。  
▼募集科目・定員／電気工学科・建築技術科・自動車整備科、各科20人(うち10人は推薦入学)  
▼修学期間／2年  
▼入学経費／入学料・授業料、教科書・工具などの経費がかかります。  
▼応募資格／推薦入学は新規高卒の方。一般入学は新規高卒か過年度高卒、離職・転職する方。  
▼願書受け付け／推薦 10月1日(金)～10月20日(水)・一般 11

月1日(月)～11月19日(金)  
▼試験日／推薦 11月1日(月)・一般 12月6日(月)  
▼試験内容日／推薦 面接・一般 学科試験(国語・数学)と面接  
□問い合わせ先／北海道立釧路高等技術専門学院 ☎0154-80111 メール kugisen.11@pref.hokkaido.lg.jp

## 貸金業への苦情を受け付けています

6月から、個人が貸金業者から借りられる額が年収の3分の1までに制限されるなど、貸金業法のルールが大きく変わりました。容易に借りられるなどの広告を出したり、ダイレクトメールを送ったりする業者の中には、違法なヤミ金業者も多いことから、不安がある場合はお問い合わせください。また道では、フリーダイヤルを設置し、貸金業者を利用している方からの苦情相談を受け付けています。  
▼貸金業苦情相談専用フリーダイヤル ☎0120-1178372(通話料無料)  
▼受付日／毎週月・金曜日(祝日)・12月29日(1月3日を除く)の10時～正午と13時～16時  
※受付日以外は、道庁環境生活部消費者安全課で受け付けています。(通話料有料)

□問い合わせ先／釧路総合振興局環境生活課 ☎0154-9151、道庁環境生活部消費者安全課 ☎011-231-4111内線24・527まで。

## 寄付ありがとうございました

□安田 一紀 様(札幌市)  
▼現金 5万円  
●亡父(安田勝江)が生前、町にお世話になったお礼として、社会福祉整備に役立ててほしい。  
□中山 美恵子 様(高栄4)  
▼現金 20万円  
●亡夫(中山十二男)への見舞金の一部として、弟子屈中学校生徒用品購入費の一部として。  
□渡邊 忠 様(奥春別)  
▼現金 5万円  
●亡母(渡邊良子)が生前、町にお世話になったお礼として。  
▼車いす 1台  
●亡母(渡邊良子)が生前、町にお世話になったお礼として、弟子屈町斎場の施設運営のため役立ててほしい。  
□佐藤 ミヤコ 様(中央3)  
▼現金 3万円  
●亡夫(佐藤慶二)が生前、町にお世話になったお礼として、福祉に役立ててほしい。  
□藤方 弘道 様(東京都)  
▼現金 10万円  
●環境にやさしい町づくり寄付。  
□高台自治会女性部 高木 とき子 様  
▼古布 1千枚  
●老人ホームで利用者のために活用してほしい。

## おはなしはらっぱ 10月

テーマ 『秋の虫くん勢ぞろい』

- ☆2日／『だんまり こおろぎ』 ほか2冊
- ☆9日／『やさいのおなか』 ほか2冊
- ☆16日／『とべバッタ』 ほか2冊
- ☆23日／『はらべこ あおむし』 ほか2冊
- ☆30日／『ごきげんななめのととうむし』 ほか2冊

○時間／午後1時～ ○場所／弟子屈町図書館  
おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時! みんな集まれ!

## 10月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れないようにしましょう。

- ▶町・道民税3期 11月1日(月)
- ▶国民健康保険税5期 11月1日(月)
- ▶後期高齢者医療保険料5期 11月1日(月)
- ▶介護保険料3期 11月1日(月)

## 夜間納税窓口開設のお知らせ

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で「夜間納税窓口」を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日／10月13日(水)・10月27日(水)
- ▶開設時間／午後8時まで
- ▶開設場所／役場庁舎・川湯支所
- 問い合わせ先／役場税務課 ☎482-2914(課直通)まで。



## なるべく地場産の食材を使ったカンタンおやつ作り(参加者募集)

- ▶日時・メニュー(時間はいずれも10時～正午)
  - 10月14日(木)／スイートポテト
  - 10月21日(木)／カステラ
- ▶場所／川湯ふるさと館実習室
- ▶定員／各回16人(先着順・前日までに役場農林課に申し込みください)
- ▶参加費／1回につき1人300円
- 申し込み・問い合わせ先 役場農林課農政係 ☎482-2936(課直通)まで。

## 必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も

北海道内で事業を営む使用者、およびその事業場で働くすべての労働者(臨時・パートタイマー・アルバイトなどを含む)に適用される北海道(地域別)最低賃金が、左のとおり改正されます。  
□問い合わせ先／北海道労働局労働基準部賃金課 ☎011-709-2311、または釧路労働基準監督署 ☎0154-9711まで。

北海道最低賃金  
時間額  
**691円**  
平成22年10月15日発効

## 町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間／10月4日(月)～10月12日(火)(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶受付窓口／役場建設課管理係・川湯支所
- ▶入居時期／10月下旬～11月上旬の予定
- ▶入居敷金／住宅料(月額)の3倍の額(緑団地単身者用は住宅料の2倍の額)

※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。  
※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。  
□問い合わせ先／役場建設課管理係 ☎482-2941(課直通)まで。

公募対象住宅一覧表					
団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
※みはらし台団地(中層耐火4階建)	S53	3DK	15,100～22,500円	2	68.50㎡(3・4階)
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	1	53.61㎡
緑団地(簡易耐火2階建)	S51	3DK	11,000～16,400円	3	59.99㎡
※緑団地(中層耐火3階建)	H6	1DK	15,500～23,100円	1	47.40㎡(1階)
※緑団地単身者用(中層耐火3階建)	H6	1DK	30,000円	4	47.40㎡(2・3階)

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)  
注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



# Monthly Schedule

日	月	火	水	木	金	土
記号の見方 健診や子育て相談など 行政相談、人権相談 保育園開放など 子育て支援センター開放など 税の納期など イベント、その他					ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	2
3		ひなたぼっこ開放 「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～)	特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) ひなたぼっこ開放 「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園・9:00～)	特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	8 9
10	11	ひなたぼっこ開放 「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放日「自由参加」(川湯保育園・9:30～)	ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	12 14 15 16
17		ひなたぼっこ開放 「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～)	ひなたぼっこ開放 「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30) 行政相談(川湯消防会館・10:00～ / 屈斜路支所・13:00～)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園・9:00～) 乳児・3歳児健診(福祉センター・9:15～) フッ素塗布(奥春別森の保育園・9:20～ / 福祉センター・10:00～) 予防接種「BCG」(福祉センター・14:30～)	ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	摩周おこと子ども教室ミニコンサート(福祉センター・14:00～)
24	25	健康相談(役場・10:00～)	ひなたぼっこ開放 「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30 / 14:00～16:30)	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園・9:00～) 夜間納税窓口開設(役場 / 川湯支所・20:00まで)	母親講座「救急救命」(要予約)(子育て支援センター・9:30～11:30) ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	22 23 29 30
第61回弟子屈町総合文化祭芸能発表会(摩周観光文化センター・10:00～)	25				こども支援センター開放「にこちゃんの日」(こども支援センター・9:30～) ひなたぼっこ開放 「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	30

■問い合わせ先 / 保健福祉課 ☎482-2935・町民課 ☎482-2934・税務課 ☎482-2914・おひさま保育園 ☎482-2444・子育て支援センター「ひなたぼっこ」 ☎482-5667

### 人のうごき

●人口計 8,295人 (マウス4)  
 ●世帯数 3,985世帯 (マウス1)

●お誕生おめでとうございます

松橋 瑞穂ちゃん(祐穂川湯温泉4)  
 八幡 陸ちゃん(利晴美留和)  
 安藤 陽菜ちゃん(陽祐桜丘1)  
 西田 秀斗ちゃん(武久泉1)

●お悔やみ申し上げます

千葉 房江さん(89歳)泉3  
 笠井 秀子さん(80歳)中央2  
 中山 十二男さん(62歳)高栄4  
 牛渡 芳春さん(67歳)泉5  
 安田 勝江さん(83歳)高栄1  
 三浦 君子さん(88歳)鈴蘭5  
 牧野 裕子さん(58歳)川湯温泉5  
 佐藤 慶一さん(83歳)中央3

●編集後記

▼例年ならお盆を過ぎると肌寒くなり、少しずつ秋を感じるはずなのに今年も、9月でも30℃超え。長い夏だったような気がします。いつも北海道の夏の短さに不満を抱いていましたが、でもいざ夏が長いと、それはそれで猛暑にうんざりし、早く涼しくなれと願ったりして、やっぱり夏は短命の方がいいみたいです。(岡田)

▼青少年健全育成事業を特集しました。どんなことを行っているのかは、何となく知っていましたが、どういふ理念の下、どんな思いで行われているのかというところを、今回初めて知りました。皆さんにも伝わるといいなと思います。子どもたちが健康に育つことは、豊かな未来づくりにもつながるのです。(宮田)

※お誕生とお悔やみは、8/1～8/31に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。

## 摩周おこと子ども教室のミニコンサートに来ませんが

町内初の文化庁委託事業として6月に開講した「摩周おこと子ども教室」。小学校1年生～中学校3年生20人が、日本の伝統音楽であるおこことを学び、親しんできました。全10回の教室が、10月で終了します。閉講式に合わせて、終了記念のミニコンサートを開催します。子どもたちがこれまで一生懸命に練習してきた成果を披露しますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。指導に当たった生田流琴友会会員による演奏も行います。

▶日時 / 10月23日(土) 14時～15時  
 ▶場所 / 福祉センター集會室  
 □問い合わせ先 / 摩周おこと子ども教室 代表 辻谷武喜代 ☎482-2296まで。



敬老会で演奏する摩周おこと子ども教室のメンバー

## ヒグマ注意特別月間 期間: 9月11日(土)～10月31日(日)

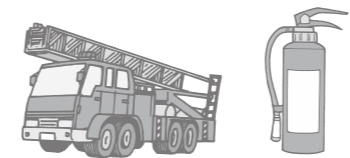
山菜採りや釣り、レジャーなどで、野山へ入る機会が増える季節となりました。自然との触れ合いは楽しいものですが、一方で北海道の大部分の地域にはヒグマが生息しています。今年度も、ヒグマによる人身事故が発生しています。

春と秋は、ヒグマによる事故やヒグマとの遭遇が増える季節です。楽しく過ごすためにも、ヒグマによる事故に遭うことのないよう、特に注意をお願いします。

□問い合わせ先 / 役場農林課林務係 ☎482-2936 (課直通) または釧路総合振興局保健環境部環境生活課 ☎0154-915111まで。  
<http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kks/Bear.htm>

## 秋の火災予防運動を実施します

秋の訪れとともに家庭での暖房機器の使用が多くなり、1年で最も火災が発生しやすい季節になることから、町民の皆さん一人一人の防火意識の普及と向上を図ることを目的として、全道一斉に秋の火災予防運動を実施します。



### 運動期間 10月15日(金)～10月31日(日)

運動期間中は、町内全域を対象に巡回広報を行います。また、住宅用火災警報器の設置普及率調査のため、今年度は泉1丁目～5丁目のご家庭を職員が訪問しますので、ご協力をお願いします。

### 10月開催 ③つの防火行事

- その1 3日(日) 防火ソフトバレーボール大会  
会場 / 摩周観光文化センター ※受け付けは終了しました。
- その2 17日(日) 火の用心パークゴルフ大会  
会場 / 鋸別河川敷パークゴルフ場  
参加賞・ラッキー賞など多数の賞を用意しています。参加者募集中です。(受け付け / 10月14日(木)まで)
- その3 24日(日) 防火徒歩パレード  
コース / 駅前金川スタンド～役場  
消防職団員や各防火団体の方々、摩周丘幼稚園のかわいい園児たちが、火の用心を呼びかけながらパレードをします。

## 火事と救急は119番

### 弟子屈消防署

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp

8月末までの出動件数

火災	2件
救急	351件